

## 次期食と農業農村振興計画答申案に対して委員からいただいた主なご意見

### 基本方向 1 次代へつなぐ信州農業

#### 1 次代を担う経営体の育成と人材の確保

- ・中核的経営体は、企業的な責任感のある経営ができるようになってもらいたい。
- ・規模拡大等を図る中で雇用人材の確保は重要であり、行政でしっかり取り組んでももらいたい。
- ・良い人材を確保するため、経営者側に雇用環境等に関する知識を身につけてもらい、農業分野にきた人材が長く定着し活躍してもらうための取り組みも必要。
- ・県内の先進的な農業者の事例を若い人に積極的に紹介し、同様の事例が他に波及するように。

#### 2 消費者に愛され信頼される信州農畜産物の生産

- ・水田農業については、園芸品目など複合化に必要な農地の条件整備を進めてもらいたい。
- ・消費者ニーズを的確に捉えた新品種開発を積極的に進めてほしい。
- ・ICTなどの導入による省力化により、若い人が魅力を感じる産業にしていくことが重要。
- ・主要農作物の品種開発や優良種子の安定供給体制の維持が必要。

#### 3 需要を創出するマーケティング

- ・食品産業との連携は、生産だけではなく調製のため施設整備等と一体となった取り組みが必要。
- ・共働き世帯の増加、高齢化などにより加工品の需要は増加すると思われるので、食品産業との連携は拡大してもらいたい。
- ・農家が行う小規模な6次産業化への支援も充実してもらいたい。
- ・輸出は、他国との競合が少ないアジア地域以外の国も対象国として検討を。

### 基本方向 2 消費者とつながる信州の食

- ・「食」が柱の一つとして打ち出されたのは良いこと。
- ・「信州ふード」や「地消地産」などの取組は、内容を整理して県民に分かりやすいものにする必要がある。
- ・食の伝承は、知識だけではなく味についても伝えていくことが必要。
- ・長寿日本一の切り口を含めた取り組みを。

### 基本方向 3 人と人がつながる信州の農村

- ・日本型直接支払の取組を拡大してもらいたい。
- ・地域住民だけではなく、都市住民やNPO法人など多様な者が参画できる体制づくりを。
- ・JAと行政がタイアップして地域コミュニティの維持を図ることが必要。